早稲田大学校友会千葉県支部

支部だより

第 19号
2025年8月吉日
発行：総務・渉外
委員会

特集記事 1

～2025年度　千葉県支部の活動に関して～

早稲田大学校友会
千葉県支部長　唐松 公三

千葉県校友の皆様、千葉県支部長を拝命しております唐松公三です。2022 年に松平前支部長の後を引き継いでから 4 年目に入りました。皆様には、日頃から千葉県支部の活動にご支援・ご協力を賜りましてありがとうございます。

今年（2025 年）の千葉県支部の活動ですが、「500 人以上参加の千葉県稲門祭の開催」、「県支部と県下各稲門会との連携」、「稲門会横断の県全体での活動推進」、「若手校友及び女性校友の参画推進」などに力を入れております。

千葉県最大のイベントである今年の千葉県稲門祭は、11 月 30 日（日）に東京ベイ幕張ホールで開催いたします。講演者はマラソンの瀬古利彦氏にお願いしております。田中愛治総長も来場されます。詳細は後ほどのページに書いております。今年も大勢の方に参加していただいて、みんなで懇親を深めましょう。お待ちしております。

次に、稲門会横断で県全体での活動推進、また、近隣稲門会同士の交流なども支援していきたいと考えています。県全体での活動では、部会として、囲碁、ゴルフ、麻雀などの県大会なども開催し、県内校友の交流を図っています。今年もそれぞれ 100 人近くご参加いただいていると聞いております。まだご参加いただいていない稲門会の校友の皆様、各稲門会幹事長を通じ支部に連絡してください。

一番の課題は県内の各稲門会も年齢層が高くなり、なかなか若手校友や女性校友の参加が少ないという点です。千葉県にはまだまだ早稲田大学出身者が大勢いらっしゃいます。折角、同窓でかつ同じ地域（千葉県）に住んでいるご縁を大切にしたいものです。年次稲門会や職域稲門会など他カテゴリーの稲門会に参加されているが、地域稲門会には参加していない方も多くいらっしゃいます。是非そういう方にも各地域稲門会や千葉県支部の活動に参加していただくよう声をかけてください。是非、みんなで千葉県全体を盛り上げて行きましょう。

支部は校友会と県下の稲門会の繋ぎ役として、情報の伝達・発信・共有などに心がけてまいりますが、一方で大学・校友会にも言うべきことは言って、しっかり対峙していきたいと考えております。基本的に校友会というのは校友の皆さんが、各稲門会の皆さんが楽しく交流すればよいと考えております。同時に、校友会の目的である早稲田大学および校友会の事業に対して支援していきたいと考えておりますので、今後とも皆様方のご協力をよろしくお願いします。

特集記事 2-1

～県支部　ホームページ開設のお知らせ～

千葉県支部 総務・渉外委員会
委員長 髙橋 孝志

校友会千葉県支部副支部長の髙橋です。昨年4月から総務渉外委員長に就任しました。総務委員会の役割分担としては、年2回発行の県支部だよりの編集、発行とブログの管理があります。

ブログのメリットとしてはホームページに比べコストがほとんどかからない点が挙げられます。一方デメリットとしてはデータ容量が少ないこと（保存データが限定される）、ホームページより見栄えが少々劣ること、平面的な情報伝達になってしまう点があります。

ただいずれにしてもブログ、ホームページとも更新がなければわざわざ見に来てくれる人が少なくなるのは皆さまご存じの通りです。今までの県支部のブログではコロナ禍で県支部主催のイベントがあまり行われていなかったことを差し引いても、ここ数年更新が積極的に行われてきたとは言えない状態でした。

ホームページの場合コストがかかってもブログに比べ伝える情報量は格段に増えます。そこで、私が総務渉外委員長になってからできるだけ安い費用（立ち上げとサーバーの維持管理費）で作成できる業者を検討しておりましたが、事務局長と椎名副委員長がお名前ドットコムという業者を探し出してきていただけました。

県支部ホームページもようやく形が見えてきましたが、その構成は次のようになっております。

1　支部長挨拶
2　県支部組織図　支部役員一覧表
3　県支部関連各種イベントの予告
4　県支部関連各種イベントの報告
5　県支部活動の予定
6　県支部活動報告
　委員会　支部幹事会　幹部会議
　（議事録など掲載）
7　県支部だよりのPDF化
8　大学校友会、県内各稲門会のホームページとのリンク
9　県支部に対するお問い合わせコーナー

各イベントの報告については必ず写真を添付します。ヴィジュアルに訴えないと皆様のイメージがわきにくいからです。

リンクが貼ってある私の所属する流山稲門会のホームページをご覧いただくとわかるのですが、イベント報告の記事には必ず写真（一枚とは限りません）と最低４００字程度の説明が入ります。

記事の内容のチェックについては、増井事務局長、私、椎名副委員長の３人体制で行います。

県支部の過去のブログの記事をホームページに移行することは考えておりませんが、今後の県支部活動については漏れのないように記録しておこうと思います。

最後に県支部のブログは今回ホームページにリニューアルされますが、各支部の役員の方にも原稿の執筆をお願いするかもしれません。その時は是非ご協力をお願いしたいと思います。

特集記事 2-2

～県支部　ホームページ開設のお知らせ～

早稲田大学校友会　千葉県支部ホームページ

http://waseda-alumni-chiba.com/

特集記事 3

～ 決定！！2025年　千葉県稲門祭のお知らせ ～

2025年 千葉県稲門祭

『世界へ』

～新たなる飛躍に向けて～

ロシアのプーチン大統領によるウクライナ侵攻はいまだ止む気配をみせず、一方経済では米国のトランプ大統領による相互関税によって世界中が混乱の渦中に巻き込まれています。そういった混沌とした中ではありますが、今日一日はすべてを忘れて千葉県稲門祭を楽しんでください。今回は箱根駅伝のスーパーエースとして活躍された瀬古利彦さんを講師にお招きしています。瀬古利彦さんから早稲田大学駅伝部の現在の状況や新年の早稲田の駅伝の予想をお話しいただこうと思います。瀬古さんのお話を聞いて、正月は箱根駅伝で早稲田を応援しようではありませんか。また今年も田中総長においでいただいております。田中総長からは早稲田１５０周年を迎えるに当たり、新たな飛躍に向けての早稲田大学についてお話しいただきます。

２０２５年千葉県稲門祭の概要（対面・リモート併用開催）

日時：11月30日（日）　会場：東京ベイ幕張ホール　会費：11,000円/人　リモート：1000円/人

第一部　講演会（午後２時30分~3時30分）

演題：　『心で走る』～マラソンのスーパーエース瀬古さんに聞く～

講演者：　瀬古利彦

第二部　総長懇談会（午後３時40分~4時55分）　田中愛治早稲田大学総長

第三部　懇親会（午後５時10分~7時35分）

会食（コース料理）／応援部のリーダー・チアリーダー・吹奏楽団よる演奏、校歌斉唱（応援部）

早稲田大学校友会　千葉県支部

心で走る　～マラソンのスーパーエース瀬古さんに聞く～

第一部　講演会　講演者のご紹介

《瀬古利彦氏　㈱ディー・エヌ・エー　フェロー
DeNAランニングアカデミー育成アドバイザー》

略歴：1956年、三重県生まれ。
高校時代から本格的に陸上を始め、インターハイでは800m・1500mで二年連続二冠を達成。
早稲田大学へ進み、故中村清監督の元、ランナーとしての才能を開花。
箱根駅伝では4年連続で「花の2区」を走り、3、4年次では区間新（当時）を獲得するなど、スーパーエースとして活躍した。
トラック・駅伝のみならず大学時代からマラソンで活躍し、国内外のマラソンで戦績15戦10勝。圧倒的な強さを誇る。
現役引退後は指導者の道に進み、オリンピック選手を3名輩出するなど後進の育成に注力。
「徹子の部屋」をはじめ、テレビ、ラジオにも多数出演。

第二部　総長懇談会

田中愛治総長2年連続ご登壇

今年も田中総長が出席され２０３２年に創立１５０周年を迎える早稲田大学が新たなる飛躍に向けてどのように進んでいくのか、また「社会が求める早稲田大学の姿は何か」について熱く語られます。
第17代早稲田大学総長　田中愛治氏は1951年11月17日生。日本の政治学者。専攻は計量政治学、政治過程論。世界政治学会（IPSA）会長を歴任。一般社団法人日本私立大学連盟会長。日本私立大学団体連合会会長。全私学連合代表。北京大学名誉博士。

第三部　懇親会

今年の懇親会は例年同様、早稲田の校友のみなさんがここに集い、より旧交を温めていただき楽しい時間を過ごしていただけるようお食事もお飲み物も豊富に用意いたしました。宴会の最後は応援部のリーダー・チアリーダー・吹奏楽団による恒例の校歌斉唱です。指揮に合わせてみんなで肩を組み早稲田大学校歌を高らかに歌い県稲門祭の終わりを惜しみましょう。

●問合せ先：早稲田大学校友会千葉県支部
事務局長 増井孝史　　E-mail :kobufutagami01@jcom.zaq.ne.jp

◆TOPICS 1

代議員会に参加して

野田稲門会　幹事長

福島 寛之（81年 商）

昨年、早稲田大学校友会代議員に選出され、2024年10月4日、2025年3月8日の代議員会に参加いたしました。千葉県支部の特筆すべき点は、代議員会に参加する前、2024年8月31日に事前研修会を実施いただいたことです。それまで稲門会は「早稲田大学卒業生の親睦団体で、現役をリタイヤした方々の第二の活躍の場」程度に思っていました（現実そんな感じではありますが…）。会の冒頭に「早稲田大学校友会は同窓会組織であり、校友の人生を応援し、校友同士の親睦を深め、母校・後輩を強力に支援しています。事務局は大学の中にありますが、校友会の運営は、校友の中から選出される幹事・専門員や代議員などの代表者によって担われ、校友主体の運営がなされています。運営の中心となる皆様には、それぞれの仕事や社会活動でご多忙な中、ボランタリー精神によって、仲間や母校・後輩の支援のための活動を支えていただいています。」の説明があり、「目から鱗」わずか4年間しか在籍しなかったのに、その後ずっと校友でいられる幸せ、母校・後輩の支援をすることでご恩返しができる幸せ、組織をずっと守り発展させてくれた先人への感謝の気持ち、後輩へ繋ぐ責任を感じた次第です。できることは限られますが、頑張って活動したいと思います。

◆TOPICS 2

夏の商議員会

高橋 孝志（78 年 商、流山）

2025年7月撮影

令和７年７月５日商議員会が大隈講堂で１４時から開催されました。今年も過去１年のうちに亡くなった元商議員、大学関係者に対する黙とうで始まりました。現在商議員は全国に約９００名おります。年会費３万円の使い道を示す決算報告があり、会費収入年額２６７９万円のうち大学に対して１２００万円の寄付を行っていました。続いて大学の財務報告がありましたが、補助金含め収入総額が１０５０億円とけた違いです。そのうち学生からの授業料等収入が６７７億円あり、一人当たり１３４万円だそうです。半世紀前の自分の年間の授業料が１２万円であったことを思い出し、やはり返金不要の奨学金制度の必要性を痛感しました。

田中総長の学事報告があり、来る１５０周年へ向けての抱負、目標を聴くことができました。

校友会の斎藤さんが所用で欠席されたので田中総長が大学への各種寄付を呼びかけられました。

最後に質疑応答があり、無事閉会となりました。

１６時半からお隣のリーガロイヤルホテルで懇親会があり、立食とお酒をいただき、最後に校歌斉唱でしめとなりました。

◆TOPICS 3

２０２５稲門祭「千葉県支部出店」

事業委員長

森山 泰充（佐倉稲門会）

2025稲門祭は10月19日（日曜）早稲田大学キャンパスで盛大に開催されます。

世代を超えた校友のネットワークの広がりを感じる稲門祭は、校友会が主催する最大のイベントです。ホームカミングデーも同日開催されて、稲門の絆を深める一日でもあります。

当日、千葉県支部は例年通りに本部キャンパス11号館角の好立地に、「千葉県物産の販売と千葉県支部活動のＰＲ」を目的としてテント張りで出店致します。名産のピーナッツ各種、キッコーマンさくさく醤油の販売を予定しています。例年好評でお昼

過ぎには完売なので、今年は昨年以上に増量手配して来場の皆さまのご期待に応えたいと思います。
　昨年から稲門祭支援が事業委員会所管になりました。石橋副事業委員長(八千代稲門会)が、千葉県支部出店のＣＯＯ職（ご本人は店長と称しています）を続投して運営をリード致します。事業委員会メンバーに加えて「なでしこ早稲田in千葉」の強力な支援も得て、今年も終日笑顔でのコミュニケーションが盛り上がる出店になることでしょう。
　稲門祭当日は多彩な音楽イベントやトークセッションのほか、１００以上の模擬店で賑わいます。キャンパスでの飲酒も昨年から解禁に戻りました。ご友人ご家族と一緒に秋の一日をゆっくり母校探索して楽しまれますよう、そしてご来場の皆さまには千葉県支部出店販売の助っ人応援を期待しております。

2024年10月撮影

2024年10月撮影

　大隈銅像近くに出店しています。千葉県支部の幟と赤色の法被、そしてチーバくんの縫いぐるみマスコットを目指してお越しください。お待ちしております。

◆キャンパスは今

椎名　俊朗（91年　商、船橋）

　早稲田キャンパスと西早稲田キャンパスで、校舎の建替え工事が行われています。
今回は、新9号館、新52号館（西早稲田キャンパス整備事業）に関してご紹介いたします。

①　新９号館

早稲田大学HPより

　早稲田キャンパス内の9号館は、社会科学部、法学部、商学部、政治経済学部と校舎が建替えられた中で、現在16号館を主に使用している教育学部関連の新校舎として、新しく生まれ変わります。
　2027年度からの利用を目指して建築中で、完成すると教育学部関連以外にも全学の共通教室や早稲田ポータルオフィス等としても使用されます。
　また、11号館との間は、今までのアスファルトから「木立のひろば」に整備されます。
　完成が楽しみです。
　建物の詳しい内容や募金に関しては、大学のHPをご覧ください。

（2025年７月撮影　11号館前、10号館3F屋外より）

概要
・2027年度供用開始予定
・地下1階地上15階、鉄骨造（CFT造）一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋コンクリート造・木造
・延床面積　33,364.86㎡

早稲田キャンパス新9号館建設募金 ｜ 早稲田大学へのご支援をお考えの皆様へ － 世界で輝くWASEDAを目指して －

https://kifu.waseda.jp/contribution/newbuilding

② 西早稲田キャンパス整備工事

早稲田大学HPより

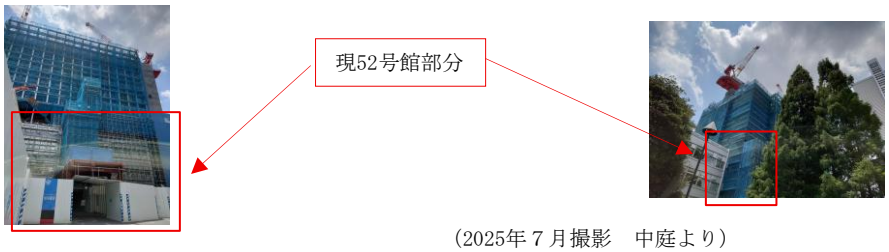
大学創立150周年（2032年）、理工創設125周年（2033年）に向けて、西早稲田再整備の第1期工事として、新52，53，54号館の建替え工事が行われています。

その内、新52号館は今年度（2025年度）中の一部供用開始が予定されています。

また、この計画は珍しい設計になっており、現52号館はそのまま残し（しかも授業を行い）ながら、その上に新52号館の新築工事が進められています。

現在キャンパスの中庭から、写真のように特殊な工事の様子が見られます。

新52号館に続き、53，54号館の建替え工事が行われ、その後は第2期として、59号館の建替え工事も計画されています。



（2025年７月撮影　中庭より）

概要

・地下2階／地上9階、鉄骨造・鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造

・延床面積　33,364.86㎡

延床面積を約 3 倍–約 27,000 ㎡に増床 - 早稲田大学

https://www.waseda.jp/top/news/93550#:~:text

編集後記

（2025年4月24日撮影）

2025年千葉県稲門祭の講師は、瀬古利彦氏に決まりました。三村支部県稲門祭責任者のお話によると、瀬古氏は「講演が11月なので、翌年明けの箱根駅伝の展望もより核心に迫る話ができるだろう」と仰っていたとのこと。千葉県出身の有力選手の存在もあり、例年以上に楽しみな大会です、

大学本部稲門祭の出店者説明会が先日行われ、千葉県支部の石橋副事業委員長が参加されました。本支部だより内の森山事業委員長の記事にもありますように、本年も県支部は出店の予定です。その他の参加団体の資料をみると、今年も様々な趣向を凝らしたブースがあるようです。

そして本日、私にはホームカミングデーの案内が届きました。

秋開催の各種校友会イベント。いよいよ準備が加速されてきました。

皆さんのご来場をお待ちしております。

（椎名）